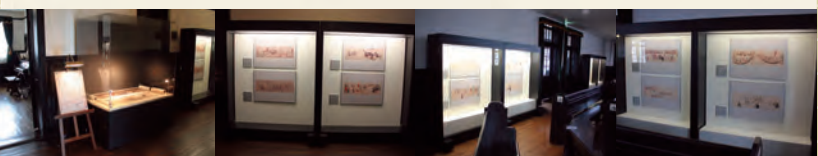


蒙古襲来絵詞と元寇防塁

◎会期／2010(平成22)年12月21日(火)～2011(平成23)年5月16日(月)

蒙古襲来絵詞は、二度の元寇で出陣した肥後国の御家人竹崎五郎兵衛尉季長の戦闘を中心に描かれた絵巻です。元寇とはモンゴル帝国(元)のフビライ=ハンが日本へ派兵したことによる戦闘であり、1274(文永11)年と1281(弘安4)年の2回にわたって侵攻されました。

今回は蒙古襲来の様子を12枚のパネルで紹介しています。人物の表情のみならず、甲冑や馬なども躍動感ある表現で写実的に描かれています。また、この絵巻に描かれている元寇防塁の遺構が本学でも検出されており、現在1号館で一般公開されています。絵巻に描かれた石築地と本学の「元寇防塁」をあわせてみていただければ幸いです。



次回の特別展

開館5周年記念特別展 海流に魅せられた島-天草-

◎会期／2011(平成23)年6月6日(月)～7月16日(土)
◎協力／船の科学館・海と船の博物館ネットワーク

西洋と東洋の融合の地といわれる天草。天草島ではどのような海外との交流がおこなわれ、文化が根付いていったのか。島原・天草の乱の戦況を含めてその姿を紹介します。

特別展関連公開講演会

6月18日(土)14:00～16:00

場所／西南学院大学博物館2階講堂

(基調報告)14:00～15:00 [シンポジウム]15:00～16:00

テーマ「天草島における海外交流とキリスト文化」

司会 高倉 洋彰氏(本学博物館館長)

パネリスト 安高 啓明氏(本学博物館学芸員)

中山 圭氏(天草市教育委員会学芸員)

松本 博幸氏(天草切支丹館学芸員)

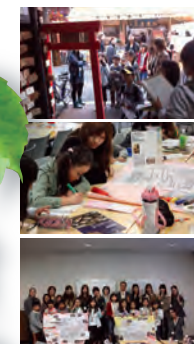
せいなんこども ワークショップ活動報告

地域に愛される博物館づくりの一環として、月に1回小学生を対象としたワークショップを行っています。

第1回 10月30日 第2回 11月13日 第3回 12月11日

西新の 歴史マップを つくろう。

本学1号館の元寇防塁や紅葉八幡宮など、西新地区の歴史的施設を実際に歩いて訪ね、地域の歴史マップを作り、発表しました。



臨時職員・本学大学院国際文化研究科博士後期課程 貞清里

音楽とお話 親しもう。

安高学芸員による特別展ギャラリートークの後、本学応援指導部によるサックス演奏、安積音楽主宰によるパイプオルガン演奏とハンズオンを行いました。

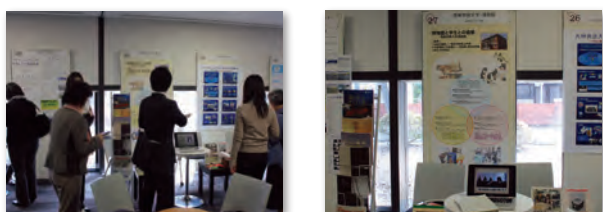


クリスマスの グリーティング カードをつくろう。

ハンキンス宗教主事によるクリスマス講話の後、贈る相手のことを想いながらクリスマスカードを作りました。



Q-conference2010 ポスターセッションに参加しました!



2011年2月19日(土)に本学で開催された「Q-conference2010(Q-Links活動報告会)」は、九州地域を中心としたFD・SDの大学間連携ネットワークによる活動のひとつです。ポスターセッションでは、九州地域大学教育改善を目的に、計15大学28部署が、それぞれの教育カリキュラムに関する知恵や工夫を共有しました。

当館は、「博物館と学生との協働」をテーマに、学生の能動的な学びのために、博物館が実践しているカリキュラムを紹介しました。当館の研究・教育活動に関して参加者の方から、感想やアドバイスをいただけたことは、大変貴重な機会となりました。

学習者中心の大学教育が掲げられるようになった現在、学生の学びに教員と職員が共に貢献するための新たな教育のあり方が求められています。今回のような、教育改善という大きな目標をもった会への参加は、研究・教育機関である博物館にとっても大いに意義のあるものでした。

臨時職員・本学大学院国際文化研究科博士前期課程 小林史奈

行事予定

2011(平成23)年

【学内行事】

3月22日(火)
卒業礼拝、卒業証書、学位記授与式

4月1日(金)
入学式

5月13日(金)
学院創立記念日

5月31日(火)
C.K.ドージャー先生記念日

【企画展／特別展】

2010年12月21日(火)～2011年5月16日(月)
蒙古襲来絵詞と元寇防塁
[場所]西南学院大学博物館1階廊下前、2階講堂

6月6日(月)～7月16日(土)
九州のキリスト教シリーズⅢ
海流に魅せられた島 天草 一祈りの原点とキリスト文化-
[場所]西南学院大学博物館1階特別展示室、2階講堂

7月19日(火)～10月22日(土)〔予定〕
シーボルト著「日本」にみる近世NIPPON
[場所]西南学院大学博物館1階廊下前、2階講堂

【講演会など】

5月6日(金)12:00～20:00・7日(土)12:00～20:00・
8日(日)12:00～20:00
コダーイ・春の音楽セミナーin福岡
[場所]西南学院大学博物館2階講堂

6月18日(土)14:00～16:00
春季特別展関連公開講演会
●「海流に魅せられた島 一天草-」……安高啓明氏(本学博物館学芸員)
●「海の領主天草五人衆と関連遺跡出土陶磁器」中山圭氏(天草市教育委員会学芸員)
●「天草とキリスト教」(仮)……松本博幸氏(天草切支丹館学芸員)

シンポジウム
テーマ「天草島における海外交渉とキリスト文化」
司会：高倉洋彰氏(本学博物館館長)
パネリスト：安高啓明氏(本学博物館学芸員)
松本博幸氏(天草切支丹館学芸員)
中山圭氏(天草市教育委員会学芸員)

[場所]西南学院大学博物館2階講堂

6月18日(土)18:00～21:00・19日(日)13:30～18:30
福岡パッコレギウム定期演奏会
[場所]西南学院大学博物館2階講堂

その他、幅広いニーズに合わせて団体見学会等も実施しております。
なお、予定は変更することもございますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

西南学院大学博物館 SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号
TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786 / 博物館事務室
URL <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>

●開館時間のご案内
開館時間 / 10:00～18:00(入館は17:30まで)
休館日 / 毎週日曜日、夏期休暇[8/10～8/16]
キリスト降誕祭[12/25]、年末・年始[12/28-1/5]
入館料 / 無料

来館者掲示板

いつも子どもがお世話になっております。娘もワークショップの参加を楽しみにしており、毎回充実した内容で大変刺激になっている様子です。これからもよろしく願っています。(2010/12/17 Bさん 30代)

初めて来ました。建物がほんとに歴史を感じました。講堂すごい!(2011/01/19 Mさん・Rさん・Eさん 20代)

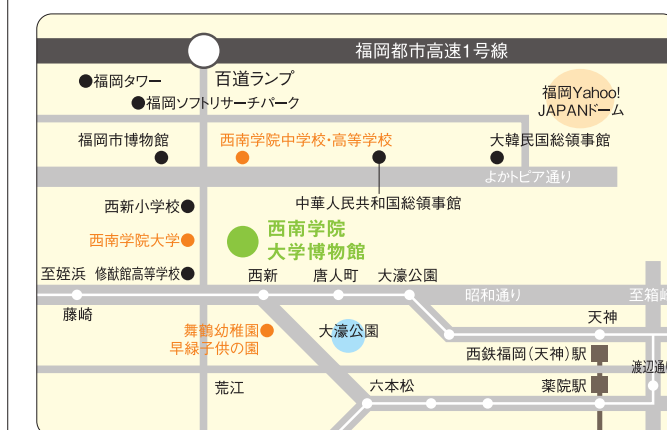
卒業以来、久しぶりに来ました。チャペルの椅子、懐かしいです。また遊びに来たいです。(2011/02/11 女性 20代)

聖書に出てくる木の実や道具を実際に見ることができただけで、リアリティが出てきます。展示もひとつのプレゼンテーション(表現)なんだなと思いました。プレゼンテーションの語源はプレゼントですから、「展示は贈り物なのだ」と思います。(2011/02/14 男性 60代)

いつもご来館ありがとうございます。最近当館では、韓国からのお客様が多くみうけられます。来館者ノートにもたくさんメッセージをくださるので嬉しい限りです。また、子どもワークショップを開催していることもあって、小学生のみんなや保護者の方々にもたくさんご来館していただいています。これからも、さまざまな方が楽しめるような開かれた博物館になるよう、みなさんの声をお聞かせください。(博物館スタッフ F・Kより)



アクセスマップ ACCESS MAP



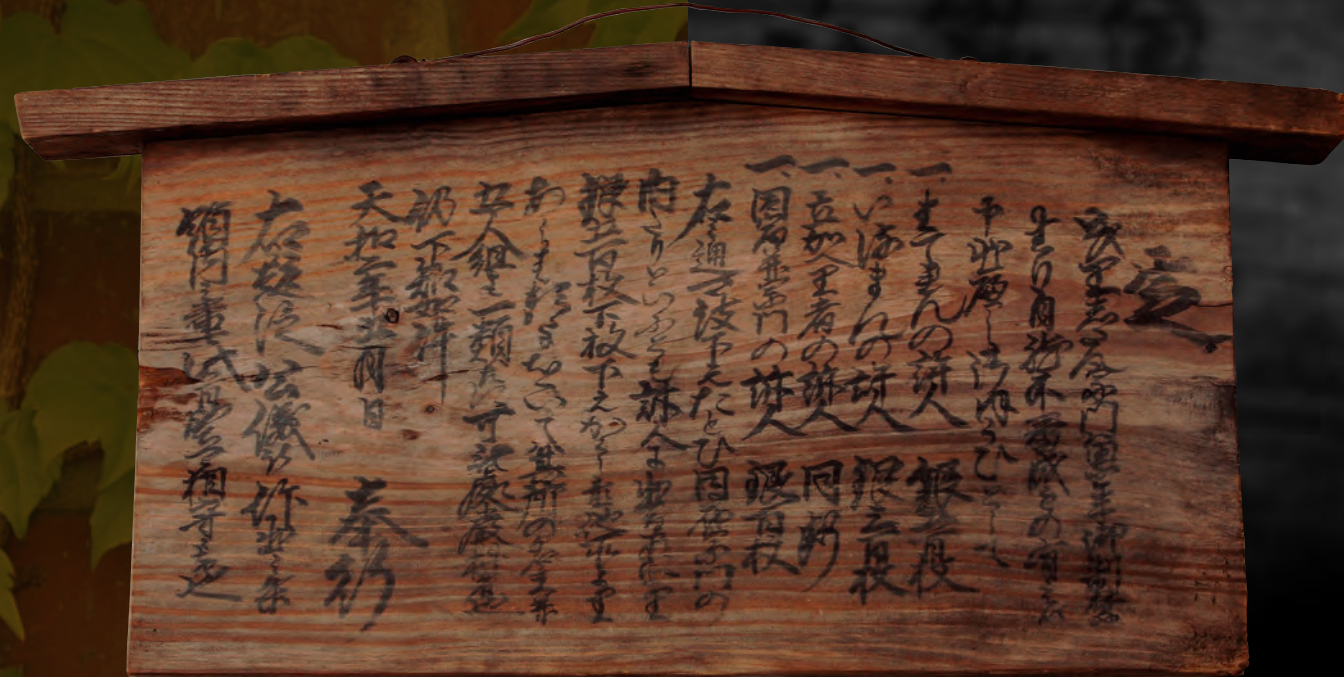
福岡空港 → 西新駅下車……約17分
博多駅 → 西新駅下車……約12分
天神 → 西新駅下車……約8分
※地下鉄西新駅(3番出口)から徒歩5分
博多駅バスセンター → 修葺館前……約35分
天神 → 修葺館前……約20分
※修葺館前バス停から徒歩5分
福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学……約25分
博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学……約20分
天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学……約15分

News

西南学院大学博物館ニュース

Volume 06 2011.3

◎西南学院大学



キリスト教制札
[西南学院大学博物館所蔵]

特集 キリシタン制札

博物館紹介◎ 階段とガラス窓

企画展紹介 蒙古襲来絵詞と元寇防塁

所蔵品紹介 キリシタン制札

大学博物館紹介◎ 学習院大学史料館

大学周辺情報◎ 西南学院の発展とともに ソテツ



階段とガラス窓

博物館は旧西南学院本館として1921年に竣工されました。90年という年月を重ねてきた建物には、新築された施設とは異なるあたかき雰囲気があります。たとえば2階、そして3階へとつながる階段は、多くの人が行き交った足跡を物語るようにすり減っている様子がわかります。また、時代を感じさせる手すりや欄干がいつそう深い味わいをひき出しています。博物館の窓は手作りのガラス窓であり、そとが揺らいでみえる光景には情趣が

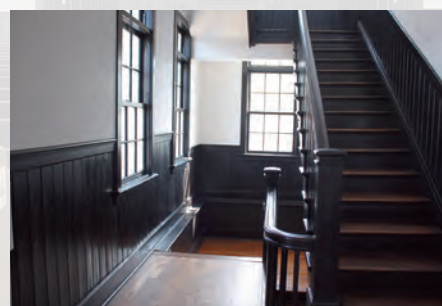
あります。差しこむ光からの開放感、そして雨露にぬれた窓からはいつもとは違った趣を感じることができます。

大学博物館には今日でも多くの人が訪れます。学生はもちろんOB・OG、外国人の方まで来館し、想いをめぐらしています。

西南学院とともに歩んできた大学博物館は、昔を懐かしみ、現在を知り、そして未来への希望を与える建物なのです。



時の流れを象徴する階段



光がさしこむガラス窓と階段



2階講堂の窓

【大学博物館紹介⑥】

学習院大学史料館

1975(昭和50)年に学校法人学習院の100周年記念事業の一環として大学附置研究施設として設置されました。1985(昭和60)年には博物館相当施設となり、学芸員課程の授業や実習などがおこなわれています。

学習院目白キャンパス内には多くの歴史遺産があります。そのなかでも史料館は国登録有形文化財建造物のひとつで、価値の高い建物です。

古文書や考古遺物、古写真などの歴史史料のほか、文学資料、学習院に関する資料などを所蔵しています。皇族・公家・大名・華族資料のほか村の名主家資料があります。これら約13万件の資料のなかでも、西園寺家や西田幾多郎資料は多くの人に知られています。

調査・研究を公表する場として利用され、年に数回の企画展が開催されています。また教育活動として公開講座を開講しているとともに、定期刊行物も発刊されています。近年発刊され

た学習院大学史料館編「学習院目白の学び舎―学内に遺る歴史ある建築」は是非ともお薦めしたい。



学習院大学史料館



正面入口



館内展示室



展覧会風景

開館時間 / 平日 9:30~17:30(11:30~12:30閉室) 土曜 9:30~12:30
休館日 / 日曜日、国民の祝日・休日、開学記念日(5月15日)、開院記念日(10月17日)、
大学入試期間(2月頃)、その他の年末年始、夏期休館など
連絡先 / 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1
TEL03-3986-0221 FAX03-5992-9219
URL / http://www.gakushuin.ac.jp/univ/ua/

所蔵品紹介

キリシタン制札 天和2(1682)年

キリスト教を禁じた御触



江戸時代、禁令や法令、道徳観などを板札に墨書し、市中に掲げたものを総称して「高札」といいます。特定の事項を対象とした高札を制札といい、本資料はキリスト教を禁じた高札であることから、正確には「キリシタン制札」になります。街道筋や村役人宅、お役所付近には高札場が設けられ、ここに数枚の禁令が掲げられました。

この資料は天和2(1682)年のキリシタン制札で、いわゆるキリシタン褒賞制を明記したものです。伴天連(司祭・神父)の訴人には銀500枚、イルマン(修道士)と立ち帰り者(復宗した者)の訴人には銀300枚、同宿(伝道を補助する人)・宗門の訴人には銀100枚を褒美として与えると記されています。

幾里志多ん宗門

一 者てれんの訴人 銀五百枚
一 い流まんの訴人 銀三百枚
一 立加へ里者の訴人 同断
一 同宿并宗門の訴人 銀百枚



キリスト教信仰禁止の周知はもちろんのこと、住民相互に監視させる目的があったのです。

なお、冒頭には「幾里志多ん」(キリシタン)と書かれています。キリシタンの表記は様々で、1637(寛永14)年~38(同15)年の島原・天草の乱までは、キリシタンのことを伴天連と称することが多く、これ以降「吉利支丹」の言葉が定着します。また、1680(延宝8)年の徳川綱吉が將軍就任するにともない、「吉」の字を避け、「切支丹」や「鬼理死食」などの文字が使われるようになりました。

学芸員の眼

— 博物館資料 —

博物館には基本理念にしたがって、多くの資料(モノ)が保管、収集されています。資料といっても古文書や考古遺物、陶磁器、美術作品などさまざまで、写真やビデオ、標本も資料となります。一見、「ゴミ?」のようなものでも博物館にとっては貴重な資料となることがあります。新しく近代的な品物があふれる現代社会の対極にあるともいえる博物館資料は、

博物館学芸員 安高啓明



特別陳列コーナー①



特別陳列コーナー②



寄贈された資料



博物館通信

2010年8月から2011年3月までの間、多くの博物館活動を行ないました。そのなかからいくつかを紹介いたします。

大学博物館ランキング入館者人文社会系において第10位と紹介されました(『大学ランキング2011年版』、朝日新聞出版、2010年)。

8月3日から27日にかけて博物館実習(本学学部生9名参加)をおこないました。

10月からせいなんこどもワークショップを開催しています。その成果の一部を博物館の受付の前に展示しています。

11月12日から12月4日にかけて実習の成果として「西南生プロデュースおすすめデートプラン@西新エリア」を海の中道マリンワールドで開催しました。

11月24日、本学博物館の安高啓明学芸員が(財)日本博物館協会から棚橋賞を受賞(於奈良県新公会堂)しました。

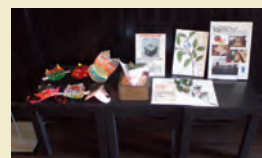
2011年2月19日、Q-conference2010に参加し、「博物館と学生との協働」のポスターセッションをおこないました。

スタッフの声

2011年になり、いよいよ新学期を迎える季節になりましたね。今年初刊行の博物館ニュースはいかがでしたか? 昨年は、公開講演会や子どもワークショップ、来館者ノートなどを通して、たくさんの方々と交流することができました。ここ数年は、何度も足を運んでくださるリピーターさんも増えて、スタッフ一同喜んでおります。

今年もさまざまな出会いに感謝しながら、みなさんとともに博物館を賑やかにしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

臨時職員・本学大学院
国際文化研究科博士前期課程
小林史奈



【大学周辺情報⑥】

ソテツ

当館の玄関前には大きなソテツが植えられています。このソテツは当館の前身である西南学院の本館が完成した1921(大正10)年から存在していたもので、赤煉瓦造の建物、旧正門とともに以前の西南学院の面影を残しています。当初と比べると、かなり大きく成長していますが、ソテツの成長からも西南学院、そしてこの建物の歴史の深さを感じることができるといえます。

臨時職員 本学大学院 国際文化研究科
博士前期課程 中尾祐太



竣工当時の西南学院本館とソテツ